

ブーツ用脱臭剤商品化

唐津市の日本建設技術

ガラス廃材で吸水素材

空き瓶などのガラス廃材をリサイクルした吸水性の新素材「ミラクルソール」を製造、販売する日本建設技術(唐津市、原裕社長)が、新素材を使



日本建設技術が商品化した靴・ブーツ用の脱臭剤「ミラクルキャッチャー」。ブーツの形状を保つブーツキーパーの役割も兼ねる

った靴・ブーツ用の脱臭剤を商品化した。げた箱に置いたり、靴やブーツに入れて使用、効果は約三カ月持続するという。ミラクルソールは色付き瓶など、リサイクル困難

なガラス材を粉碎し、発泡剤を混ぜて焼成。多孔質素材で脱臭・除湿効果を持つ。緑化保水剤や水質浄化剤として販売、施工してきた。脱臭剤は既存製品をさ

らに細かく碎き、紙繊維の袋に詰めた。女性スタッフらがパッケージデザインを手がけて商品化。商品名は「ミラクルキャッチャー」。インターネッ

トや同市内のブティック、同社営業所で販売し、五カ月で累計四百セット売れ、県トリアル発注に採用された。ブライダル用の需要も見込み、使用後の素材はガーデニング用の吸水材などに再利用できる。靴用は五百二十五円、ブーツ用は八百四十円、ロングブーツ用は千二百円。同社は電話0955(64)2525。

(村上)